

職場での転倒災害 **ゼロ** を目指しましょう

作業場・事務所・通路・階段での転倒災害が増えています

長崎署管内の直近3年間の労働災害発生状況(平成30年～令和2年)

【休業4日以上、労働者死傷病報告より】

表1: 災害発生状況(事故の型別)

(3年間合計: 1881人)

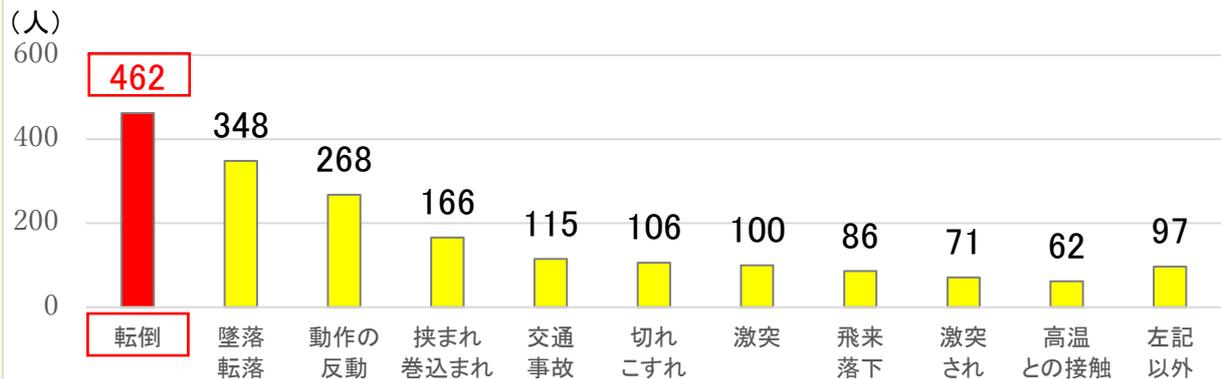


表2: 転倒災害(年代別)

(合計: 462人)

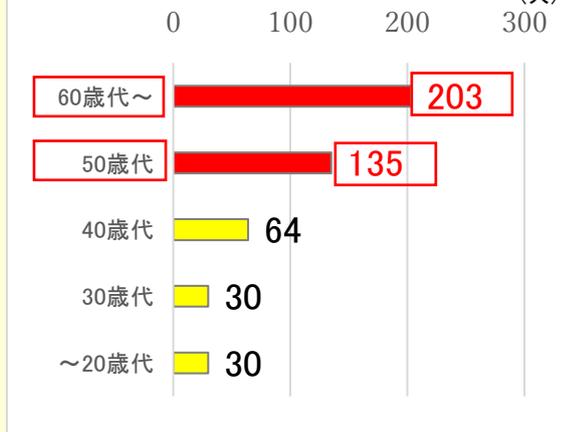
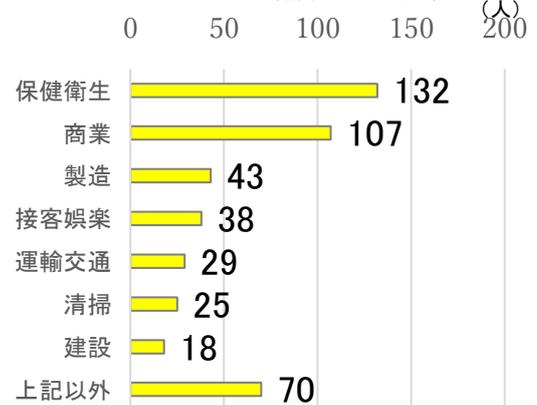


表3: 転倒災害(業種別)

(合計: 462人)



『転倒災害』の特徴(長崎署管内)

- ◆ 災害件数では、『転倒災害』が『24%』で最多となっています。
- ◆ 年代別では、50歳以上が『73%』で、大半を占めています。
- ◆ 保健衛生(医療、社会福祉)及び商業(卸業、小売業)の他、製造業、接客娯楽、交通運輸、清掃、建設など多岐にわたる業種で発生しています。



長崎署管内の転倒災害事例（令和3年）

『滑り』による転倒(1)

発生日時 令和3年4月
業種 保健衛生(社会福祉)
被災者 57歳の介護職
被災程度 後頭部挫創
休業見込 10日
発生状況 同僚から利用者の入浴介助の手伝いを依頼され、少しだけと思い、浴室用の靴に履き替えず、大浴場に入ったとき、足を滑らせて転倒した。
発生原因 滑りにくい靴に履き替えなかったこと。
対策 耐滑性のある靴に履き替えること。



『滑り』による転倒(2)

発生日時 令和3年1月
業種 商業(小売業)
被災者 50歳の精肉担当
被災程度 前頭部挫傷
休業見込 19日
発生状況 スーパーの精肉作業場の清掃中、濡れた床で足を滑べらせ、転倒した。その際、作業台の角で額を打撲した。
発生原因 滑りにくい材質の床の塗料が剥がれ、コンクリート面が露出していたこと。
対策 床の塗装を補修すること。



『つまずき』による転倒

発生日時 令和3年4月
業種 食品製造業
被災者 55歳の製造作業員
被災程度 右手首骨折
休業見込 2か月
発生状況 工場内にて、材料の入ったコンテナを抱え薄暗い通路を移動中、野菜箱につまずいて転倒した。
発生原因 通路上が薄暗く、視野が確保できなかったこと。
対策 人感センサー照明を設置すること。



『踏み外し』による転倒

発生日時 令和3年4月
業種 保健衛生(病院)
被災者 47歳の准看護師
被災程度 仙骨骨折
休業見込 11日
発生状況 病院内で、輸血の注文のため、2階から1階まで階段を降りていた時、階段を踏み外し、段で臀部を打撲した。
発生原因 急いで階段を下りていたこと。また、階段の手すりを持っていなかったこと。
対策 段差に滑り止めテープを設置すること。



『STOP! 転倒災害プロジェクト』とは……

- ◆ 厚生労働省と労働災害防止団体では、『転倒災害』を撲滅するため「STOP! 転倒災害プロジェクト」を推進しています。
- ◆ このプロジェクトは、職場における転倒リスクの総点検と、必要な対策の実施により、転倒災害の防止に関する安全意識を高め、安心して働ける職場環境の実現を目的としています。
- ◆ 事業場の皆様は、職場の転倒災害防止対策をすすめていただくとともに、適時にチェックリストを活用した点検を行い、安全委員会での調査審議を経て、職場環境の改善を図ってください。

STOP! 転倒災害
プロジェクト

STOP! 転倒 検索



転倒防止のためのチェックシート

転倒災害防止の点検項目		<input checked="" type="checkbox"/>
1	<p>通路、階段、出入口に物を放置していませんか。</p> <p>◆ 通路、階段、出入口には、通行の妨げとなる物を放置しないようにしましょう。</p>	<input type="checkbox"/>
2	<p>床の水たまりや氷、油などは放置せず、その都度取り除いていますか。</p> <p>◆ 床面が水や油で汚れている場合は、すぐに取り除きましょう。</p>	<input type="checkbox"/>
3	<p>通路や階段では、十分な明るさが確保されていますか。</p> <p>◆ つまづきや踏み外し防止のため、十分な照度を確保しましょう。</p> <p>◆ 着け忘れを防止するため、人感センサーライトも有効です。</p>	<input type="checkbox"/>
4	<p>転倒を予防するための教育を行っていますか。</p> <p>◆ 転倒(滑り、つまづき、踏み外し)予防のため、定期的に教育・研修を行いましょ。</p>	<input type="checkbox"/>
5	<p>作業靴は、作業場所に合った耐滑性のものを履いていますか。</p> <p>◆ 靴底の摩耗などを定期的に点検してください。</p>	<input type="checkbox"/>
6	<p>ヒヤリハットを活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成していますか。</p> <p>◆ 事務所や工場の危険箇所をマッピングし、危険情報を共有しましょう。</p>	<input type="checkbox"/>
7	<p>段差のある箇所や滑りやすい箇所を、標識などで注意喚起していますか。</p> <p>◆ 転倒の危険箇所には、ステッカーなどで注意喚起してください。</p>	<input type="checkbox"/>
8	<p>スマホを操作したり、ポケットに手を入れたまま歩いていませんか。</p> <p>◆ スマホは、安全な場所に立ち止まって操作してください。</p>	<input type="checkbox"/>
9	<p>ストレッチ体操や転倒防止のための運動を取り入れていますか。</p> <p>◆ 作業開始前には、関節の可動域を広げるため、準備運動を行ってください。</p>	<input type="checkbox"/>
安全衛生管理体制の点検項目		<input checked="" type="checkbox"/>
1	<p>安全管理者、衛生管理者、安全衛生推進者などの選任漏れはありませんか。</p> <p>◆ 安全管理者、衛生管理者については、選任報告の提出が必要です。</p>	<input type="checkbox"/>
2	<p>安全衛生委員会などを通じて、転倒災害防止を図っていますか。</p> <p>◆ 労働者規模50人以上では、安全衛生委員会などが必要です。また、労働者規模50名未満では、常会・職場懇談会などの労働者の意見聴取の機会が必要です。</p>	<input type="checkbox"/>

◆ 定期的に転倒リスクを点検し、必要な転倒災害防止の対策を講じてください。

転倒災害の防止対策事例



◆段差の注意喚起表示



◆階段の進行方向表示



◆通路の障害物の覆い



◆階段の滑り止めテープ



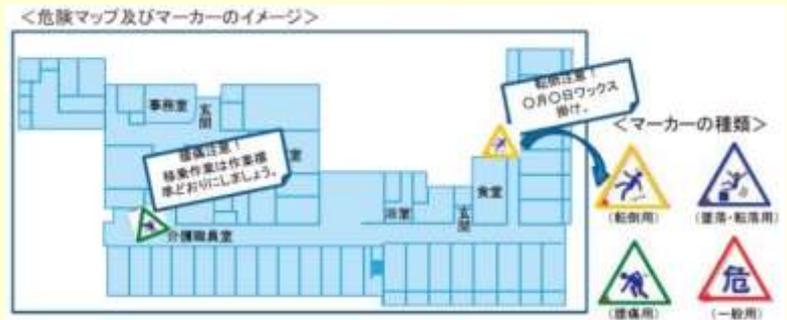
◆長靴置場(靴底の摩耗確認)



◆出入口段差の注意喚起



◆バックヤードの区画表示



◆転倒危険マップ

『エイジフレンドリーガイドライン』とは……

- ◆ 高齢労働者が安心して安全に働ける職場の環境づくりや労働災害防止のための健康づくりを推進するため、「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(通称:エイジフレンドリーガイドライン)」が公表されました。
- ◆ ガイドラインの詳しい内容は、厚生労働省のホームページをご覧ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_10178.html

